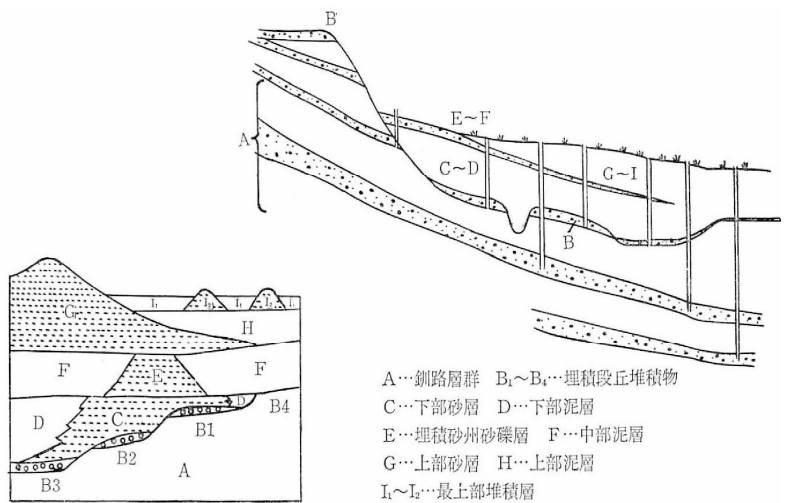


地形・地質

釧路平野は北海道東部の釧路川・阿寒川の下流に位置する面積が約 290km² の平野です。釧路平野の地下には釧路層群が広く分布し、最も有力な帯水層となっています。その他海成あるいは河成の埋没段丘堆積層、埋没谷基底礫層、沖積層などに由来する帯水層が分布しています。

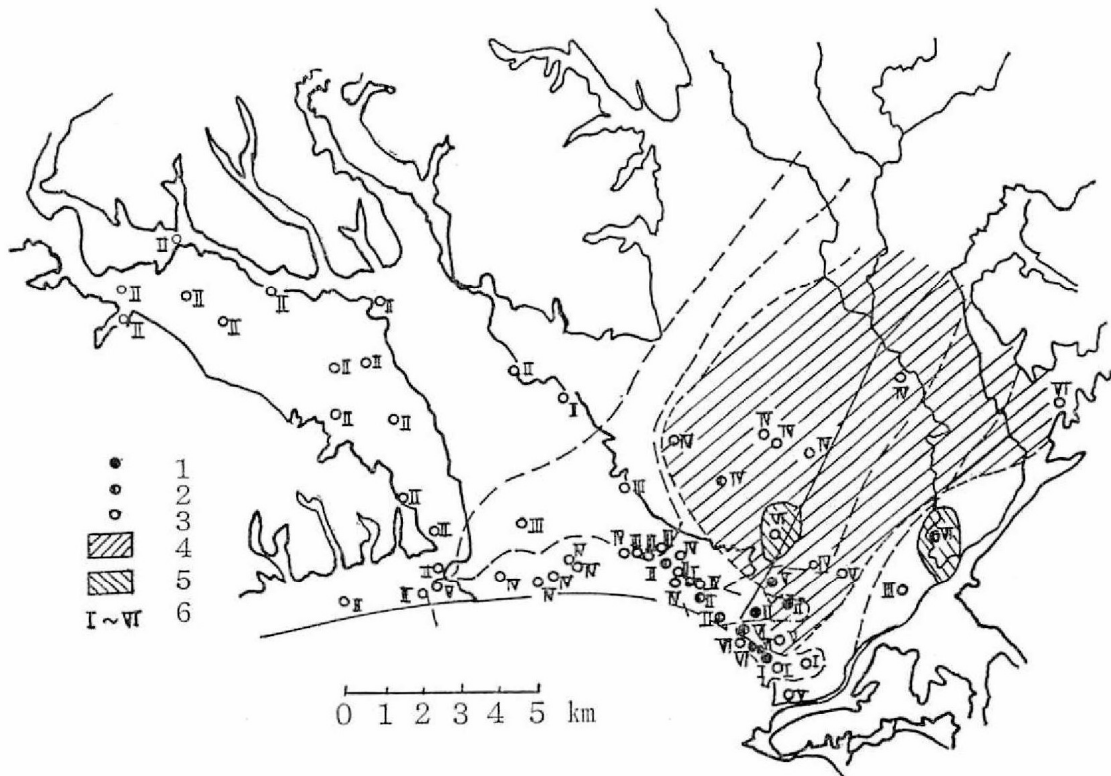
時代	地 層 (◎帯水層)		
第 新 世	完	最上部泥炭層	上部砂層◎
		上部泥層	
	新	中部泥層	埋没砂州砂礫層◎
		下部泥層	下部砂層
四 更 新 紀 世 群		埋没谷基底礫層	
		埋没段丘堆積層◎	
	釧 路 層	釧 塘 路 層	VI
			V◎
	層	達古武層	IV'~IV◎
		ルルラン層	III
群	幌呂層	II	
		I	
先 四 第 紀	古 第 三 紀・浦 幌 層 群 中 生 層		



釧路平野の地質層序と模式断面図

地下水

釧路平野では釧路層群の砂礫層が良好な帯水層を形成します。海岸部(東部)の海岸砂丘地帯の井戸は、沖積層上部砂層や埋没砂洲砂礫層を主な帯水層としています。釧路市街や新釧路川下流部にかけては、沖積層や洪積層を採水層とする井戸があります。



- 1 沖積層 2 沖積層+洪積層 3 洪積層 4 化石水分布地域
5 塩水混入地域 6 水質型

釧路平野の地下水

出典 日本の地下水（農業用地下水研究グループ,1986）（一部加筆）

「日本の地下水」では全国の地下水盆の概要が紹介されています。各地下水盆の概要を紹介している頁と関連する論文等を、下記のWeb ページで閲覧できます。

<http://www.jagh.jp/jp/g/activities/committee/research/gwdb.html>（日本地下水学会）